

## イノベーションのためのデザイン・シンキング

- [概要] 新たな製品やサービスを生み出すイノベーションが、いま企業で求められています。イノベーションを実現するための考え方として注目されているのが、デザイン・シンキングです。常に新しいデザインを生み出すデザイナーの考え方を企業のイノベーションに活用しようというものです。このコースは、デザイン・シンキングのプロセス、メソッドを理解し、活用できるようになるためのコースです。
- [学習目標]
- ・デザイン・シンキングの定義を理解する
  - ・デザイン・シンキングのプロセス、メソッドを理解する
  - ・デザイン・シンキングを活用できるようになる
- [受講対象者] 企画、設計をされる方  
デザイン・シンキングの概要を知りたい方
- [日数] 2日間
- [形式] 講義+演習（演習中心、講義2：演習8）
- [時間] 9：30～17：00

[タイムスケジュール]

日程	内容
第1日目 AM	<p>1. デザイン・シンキングとは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザイン・シンキングの定義</li> <li>・ デザイン・シンキングの必要性</li> <li>・ デザイン・シンキングが有効な場</li> </ul> <p>2. デザイン・シンキングのプロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種プロセス定義</li> <li>・ 理解・発想・試作の3プロセス</li> <li>・ 理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>目的の設定、チーム作り、事前調査、フィールドワーク、情報の整理、ニーズ、インサイトの追究</li> </ul> </li> <li>・ 発想 <ul style="list-style-type: none"> <li>コンセプトに関するアイデア出し、アイデアの評価</li> <li>コンセプトの絞り込み</li> </ul> </li> <li>・ 試作 <ul style="list-style-type: none"> <li>プロトタイプ作成、物語作り、プレゼン・評価</li> </ul> </li> </ul> <p>3. 各プロセスで活用できるメソッド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理解プロセスで活用できるメソッド <ul style="list-style-type: none"> <li>SWOT、PEST、ファイブフォース、バリューチェーン、KJ法</li> </ul> </li> <li>・ 発想プロセスで活用できるメソッド <ul style="list-style-type: none"> <li>ブレインストーミング、KJ法、ブレインライティング</li> <li>オスボーンのチェックリスト、属性列挙法、マインドマップ、マンダラ、仮想状況設定法、逆設定法、焦点法、アナロジー、メタファー</li> </ul> </li> </ul>
PM	<p>(演習) インタビュー</p> <p>(演習) 情報の整理</p> <p>(演習) ニーズ、インサイトの追究</p>
第2日目 AM	<p>前日の振り返り</p> <p>(演習) コンセプトに関するアイデア出し、アイデアの評価、コンセプトの絞り込み</p>
PM	<p>(演習) プロトタイプ作成・物語作り</p> <p>(演習) プレゼン・評価</p> <p>4. デザイン・シンキング活用のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 失敗を恐れない</li> <li>・ やる前から批判しない</li> <li>・ 身近なイノベーションを狙う</li> </ul>